



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場会社名 メドピア株式会社
コード番号 6095 URL <https://medpeer.co.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役 兼 執行役員社長CEO （氏名） 後藤 直樹
問合せ先責任者 （役職名） 取締役 兼 執行役員 CFO （氏名） 平林 利夫 TEL 03-4405-4905
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無 ： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績（2024年10月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	9,068	△20.8	1,140	△24.0	744	△27.6	700	△31.9	436	1.7
2024年9月期第3四半期	11,445	7.1	1,500	10.3	1,028	24.7	1,029	20.5	429	5.0

（注）包括利益 2025年9月期第3四半期 435百万円（△2.8%） 2024年9月期第3四半期 448百万円（8.5%）

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	20.09	—
2024年9月期第3四半期	19.77	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	14,658	9,800	66.8
2024年9月期	15,554	9,451	60.7

（参考）自己資本 2025年9月期第3四半期 9,791 百万円 2024年9月期 9,442 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	4.50	4.50
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	12,400	△17.0	1,248	△34.9	770	△40.4	820	△35.1	500	△66.3

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社（社名）一、除外 2社（社名）株式会社Mediplat、株式会社フィッツプラス

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期3Q	22,010,330株	2024年9月期	21,986,410株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	281,258株	2024年9月期	266,383株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年9月期3Q	21,720,758株	2024年9月期3Q	21,705,495株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、予想した数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが属する医療・健康産業においては、団塊の世代が全員75歳以上に達し医療・介護費の急増が懸念される、いわゆる2025年問題、さらに、団塊ジュニア世代が全員65歳以上に達することで高齢者数がピークを迎え、医療・介護費の負担の増加が拡大する2040年問題を抱えております。かかる展望を踏まえ、日本政府は健康寿命の延伸や社会保障制度の持続可能性の確保という問題に対して国を挙げて取り組むべく、健康・医療・介護分野それぞれのデータの有機的な連結や、ICT等の技術革新の利活用を推進し、効果的・効率的な医療・介護サービスの提供を目指す方針を示しております。また、データ収集の迅速化、収集範囲の拡充、医療のデジタル化による業務効率化やデータ共有を通じた医療の「見える化」等を推進していくことを表明しております。

製薬企業においては、医薬品市場の主力がプライマリ領域からスペシャリティ・希少疾患領域にシフトするとともに、医療従事者の働き方や情報入手のニーズが多様化する中、営業活動の生産性を向上させることが喫緊の課題として挙げられています。そのような中、製薬企業はウェブサイトやアプリ、ソーシャルネットワーク等、デジタルツールを活用した取り組みをより一層強化しております。そのため、リアルでのコミュニケーションとデジタルツールの活用を組み合わせた医療従事者にとって最適な情報提供を行うことが求められております。

当社グループは、長期事業目標を掲げるとともに、2027年9月期までの3か年を対象とする中期経営計画を作成し、この3年間で将来の成長基盤となる医師プラットフォーム及び医療機関支援プラットフォームを強化する「プラットフォーム強化期」と位置づけております。特に、医師集合知サービス「MedPeer」については、プラットフォームの再構築期と位置づけ、コンテンツへの投資や医師会員・患者基盤への投資を強化しております。

当社グループは2024年9月期に予防医療プラットフォーム事業からの撤退などを含む、「選択と集中」を推進するとともに、COVID-19関連プロジェクトが終了したことにより、グループ全体では減収減益となりますが、医師プラットフォーム事業を中心に、収益性の高いサービスの拡大とコストの適正化を図り、収益性の向上を推進しています。

このような環境の中、当社グループは、ミッションである「Supporting Doctors, Helping Patients. (医師を支援すること。そして患者を救うこと)」を実現すべく、医師集合知サービス「MedPeer」を活用した製薬企業・医療機器メーカー向けデジタルマーケティング支援サービスを提供する「医師プラットフォーム事業」、製薬企業向けのコントラクトMR/MSLサービスや製薬企業・医療機器メーカー向けのコンテンツ制作サービスを提供する「マーケティング支援事業」、医療機関や医療現場の業務効率化を支援する「医療機関支援プラットフォーム事業」を展開してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高9,068,652千円（前年同期比20.8%減）、EBITDAは1,140,974千円（同24.0%減）、営業利益744,440千円（同27.6%減）、経常利益700,799千円（同31.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益436,389千円（同1.7%増）となりました。

※ EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、当第3四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

① 医師プラットフォーム事業

当第3四半期連結累計期間において、医師プラットフォーム事業では、国内医師の約半数が利用する「MedPeer」上のコンテンツを充実させることにより、医師会員の活性度を向上する施策を展開してまいりました。また、製薬企業のマーケティング活動の軸がプライマリ領域からスペシャリティ領域にシフトする中、デジタルマーケティングサービス自体も変革を求められております。そのような中、既存市場における当社の市場シェアは約8%であり、営業力の強化に加えて、商品価値の増加を図ることで、市場シェアを拡大していく方針であります。また、今後、新たな市場として注目されるスペシャリティ領域においても、医師の本音に最も近いプラットフォームという当社固有の強みを活かしたサービス開発をおこなうことで、さらなる成長を目指します。

これらの結果、売上高は2,767,351千円（同5.1%減）、EBITDAは1,280,351千円（同7.9%減）、セグメント利益は1,256,094千円（同8.6%減）となりました。

② マーケティング支援事業

当第3四半期連結累計期間において、マーケティング支援事業では、デジタルマーケティングの上流から下流までを対象とした幅広いサービスを提供してまいりました。これにより、既存クライアントのみならず、新興バイオファーマや医療機器メーカー、医療機関などを中心に新規クライアントの獲得を推進しております。2024年

1月から順次、COVID-19関連プロジェクトが終了し、当第3四半期連結累計期間において、大きく減収する要因があったことにより、売上、利益共に減少しております。

これらの結果、売上高は5,994,513千円（同7.1%減）、EBITDAは793,345千円（同20.1%減）、セグメント利益455,230千円（同26.8%減）となりました。

③ 医療機関支援プラットフォーム事業

当第3四半期連結累計期間において、医療機関支援プラットフォーム事業では、医療機関や薬局向けに多様な支援サービスを提供し、医療業界のデジタル化と効率化を推進してまいりました。主なサービスは、医療機関・薬局向け集患・業務支援サービス「やくばと」シリーズ及びかかりつけ薬局化支援サービス「kakari」であり、医療機関や薬局が利用するサービスを充実させるとともに、プラットフォームの構築に注力してまいりました。なお、2024年7月に事業の「選択と集中」に伴い株式会社クラウドクリニックを譲渡した影響により売上高は減少しましたが、収益性は改善しセグメント損失は縮小しております。

これらの結果、売上高は260,526千円（同31.0%減）、EBITDAは△30,223千円（前年同期は△121,064千円）、セグメント損失30,981千円（前年同期はセグメント損失144,407千円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて896,707千円減少し、14,658,031千円となりました。これは受取手形、売掛金及び契約資産の減少393,674千円を主要因とするものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,245,452千円減少し、4,857,936千円となりました。これは未払法人税等の減少637,895千円と、長期借入金の返済による減少393,732千円を主要因とするものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて348,745千円増加し、9,800,095千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金436,389千円の増加及び配当による利益剰余金の減少97,740千円を主要因とするものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月13日に公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移すると見込んでおり、変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合は、すみやかに開示を行います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,280,009	7,260,651
受取手形、売掛金及び契約資産	2,648,055	2,254,381
仕掛品	19,751	27,364
その他	417,640	301,698
貸倒引当金	△6,729	△1,669
流動資産合計	10,358,728	9,842,426
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	290,123	284,102
工具、器具及び備品（純額）	91,554	92,365
その他（純額）	1,165	—
有形固定資産合計	382,843	376,468
無形固定資産		
のれん	1,830,126	1,650,208
ソフトウェア	104,217	119,141
顧客関連資産	2,013,922	1,882,778
無形固定資産合計	3,948,266	3,652,127
投資その他の資産		
関係会社株式	244,687	292,320
投資有価証券	128,122	36,357
敷金	241,834	245,295
繰延税金資産	230,615	199,105
その他	19,640	13,930
投資その他の資産合計	864,900	787,009
固定資産合計	5,196,010	4,815,605
資産合計	15,554,738	14,658,031

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,301	206,117
未払金	340,374	292,194
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	524,976	524,976
未払消費税等	205,497	52,010
未払法人税等	756,318	118,422
賞与引当金	171,042	90,339
役員賞与引当金	4,762	1,790
ポイント引当金	147,888	144,093
契約負債	42,621	113,263
その他	284,895	227,419
流動負債合計	2,563,680	1,780,627
固定負債		
長期借入金	2,625,072	2,231,340
資産除去債務	122,730	124,080
繰延税金負債	727,374	651,252
退職給付に係る負債	64,531	70,635
固定負債合計	3,539,708	3,077,308
負債合計	6,103,388	4,857,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,256,559	2,261,965
資本剰余金	2,255,805	2,261,211
利益剰余金	5,238,820	5,577,469
自己株式	△300,783	△300,783
株主資本合計	9,450,400	9,799,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,951	△11,097
退職給付に係る調整累計額	3,122	2,354
その他の包括利益累計額合計	△7,828	△8,743
新株予約権	8,778	8,976
純資産合計	9,451,350	9,800,095
負債純資産合計	15,554,738	14,658,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	11,445,921	9,068,652
売上原価	6,206,834	4,836,327
売上総利益	5,239,087	4,232,324
販売費及び一般管理費	4,210,259	3,487,884
営業利益	1,028,827	744,440
営業外収益		
受取利息	74	3,424
持分法による投資利益	39,905	47,632
受取保険金	5,003	—
その他	1,902	12,275
営業外収益合計	46,885	63,332
営業外費用		
支払利息	10,219	17,121
固定資産除却損	10,621	1,408
支払補償費	21,384	7,650
公開買付関連費用	—	73,953
その他	4,451	6,840
営業外費用合計	46,675	106,973
経常利益	1,029,037	700,799
特別損失		
減損損失	281,519	—
特別損失合計	281,519	—
税金等調整前四半期純利益	747,518	700,799
法人税、住民税及び事業税	406,817	308,652
法人税等調整額	△106,218	△44,243
法人税等合計	300,599	264,409
四半期純利益	446,918	436,389
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,821	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	429,097	436,389

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	446,918	436,389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,780	△146
退職給付に係る調整額	△635	△767
その他の包括利益合計	1,144	△914
四半期包括利益	448,063	435,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	430,241	435,475
非支配株主に係る四半期包括利益	17,821	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	250,614千円	216,616千円
のれんの償却額	220,853千円	179,918千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医師プラ ットフォー ム	マーケティ ング支援	医療機関支 援プラット フォーム	計			
売上高							
一時点で移転される 財またはサービス	1,233,079	701,346	183,132	2,117,559	830,497	—	2,948,056
一定の期間にわたり 移転される財または サービス	1,670,897	5,730,873	194,266	7,596,037	901,827	—	8,497,865
顧客との契約から生 じる収益	2,903,977	6,432,220	377,399	9,713,596	1,732,325	—	11,445,921
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,903,977	6,432,220	377,399	9,713,596	1,732,325	—	11,445,921
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,880	19,476	—	34,356	661	△35,018	—
計	2,918,857	6,451,696	377,399	9,747,953	1,732,986	△35,018	11,445,921
セグメント利益又はセ グメント損失 (△)	1,374,347	622,150	△144,407	1,852,090	220,553	△1,043,816	1,028,827

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額には、セグメント間取引消去21,865千円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,065,682千円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、予防医療プラットフォーム事業、ヘルステック関連イベント事業、新規事業等を含めております。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医師プラットフォーム	マーケティング支援	医療機関支援プラットフォーム	計			
売上高							
一時点で移転される財またはサービス	1,234,128	654,721	—	1,888,850	74,911	—	1,963,761
一定の期間にわたり移転される財またはサービス	1,530,922	5,259,181	260,526	7,050,630	54,260	—	7,104,891
顧客との契約から生じる収益	2,765,051	5,913,903	260,526	8,939,481	129,171	—	9,068,652
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,765,051	5,913,903	260,526	8,939,481	129,171	—	9,068,652
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,300	80,610	—	82,910	—	△82,910	—
計	2,767,351	5,994,513	260,526	9,022,391	129,171	△82,910	9,068,652
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,256,094	455,230	△30,981	1,680,342	△14,412	△921,489	744,440

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額には、セグメント間取引消去5,005千円、各報告セグメントに配分していない全社費用926,495千円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、予防医療プラットフォーム事業、ヘルステック関連イベント事業、新規事業等を含めております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結累計期間より、当社グループの報告セグメントを、医師専用コミュニティサイト「MedPeer」を活用した製薬企業・医療機器メーカー向けデジタルマーケティング支援サービスを提供する「医師プラットフォーム事業」、製薬企業向けのコントラクトMR/MSLサービスや製薬企業・医療機器メーカー向けのコンテンツ制作サービスを提供する「マーケティング支援事業」、医療機関や医療現場の業務効率化を支援する「医療機関支援プラットフォーム事業」の3つのセグメントに変更することといたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

(公開買付けの実施)

当社は、2025年5月14日開催の取締役会及び2025年7月24日開催の取締役会において、いわゆるマネジメント・バイアウト（MBO）の一環として行われるNMT株式会社（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）及び本新株予約権（注1）（以下、当社株式と本新株予約権を総称して「当社株券等」といいます。）を対象とした公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に賛同し、株主の皆様にも本公開買付けへの応募を推奨する旨を決議し、同日付で公表しております。

その後、2025年8月8日付「NMT株式会社による当社株券等に対する公開買付けの結果並びに親会社及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、本公開買付けは、本公開買付けに応募された当社株券等の総数が買付予定数の下限（11,262,835株）以上となり、本公開買付けが成立したことから、公開買付者がその全てを取得することとなった旨の報告を受けております。

また、本公開買付けの決済が行われた場合には、2025年8月15日（本公開買付けの決済の開始日）付で、当社の総株主等の議決権の数に対する公開買付者の所有する議決権の数の割合が50%を超えることとなるため、公開買付者は、新たに当社の親会社及び主要株主である筆頭株主に該当することとなります。これに伴い、公開買付者の親会社であるKKH株式会社（以下「KKH」といいます。）も、公開買付者を通じて当社株式を間接的に所有することとなるため、当社の親会社に該当することとなります。

なお、本公開買付けにおいて当社株券等 13,679,282株の応募があったものの、公開買付者は、本公開買付けにより、当社株式の全て（但し、本新株予約権の行使により交付される当社株式を含み、石見陽氏及び同氏とその子3名の計4名が発行済株式の全てを所有する資産管理会社であるB0Z0株式会社（以下「B0Z0」といいます。）が本公開買付けに応募しないことに合意している当社株式並びに当社が所有する自己株式を除きます。）及び本新株予約権の全てを取得できなかったことから、当社が2025年5月14日付で公表いたしました「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」（2025年5月16日付で公表いたしました「（訂正）「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」の一部訂正について」による訂正、2025年6月25日付で公表いたしました「（変更）「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」の一部変更について」による変更、2025年7月9日付で公表いたしました「（変更）「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」の一部変更について」による変更及び2025年7月24日付で公表いたしました「（変更）「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」の一部変更について」による変更を含みます。）の「3. 本公開買付けに関する意見の内容、根拠及び理由」の「（5）本公開買付け後の組織再編等の方針（いわゆる二段階買収に関する事項）」に記載の一連の手続きに従って、当社の株主を石見陽氏、B0Z0及び公開買付者のみとすることを予定しているとのことです。

その結果、当社株式は株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）の上場廃止基準に従い、所定の手続きを経て上場廃止となる予定です。なお、上場廃止後は、当社株式を東京証券取引所プライム市場において取引することはできません。

（注1）「本新株予約権」とは、下記①及び②の新株予約権を総称していいます。

① 2018年3月15日開催の当社取締役会の決議に基づき発行された新株予約権（以下「第12回新株予約権」といいます。）（行使期間は2020年1月1日から2028年3月29日まで）

② 2019年2月13日開催の当社取締役会の決議に基づき発行された新株予約権（以下「第16回新株予約権」といいます。）（行使期間は2019年3月11日から2029年3月8日まで）